



エメラルド婚

一緒に旅する

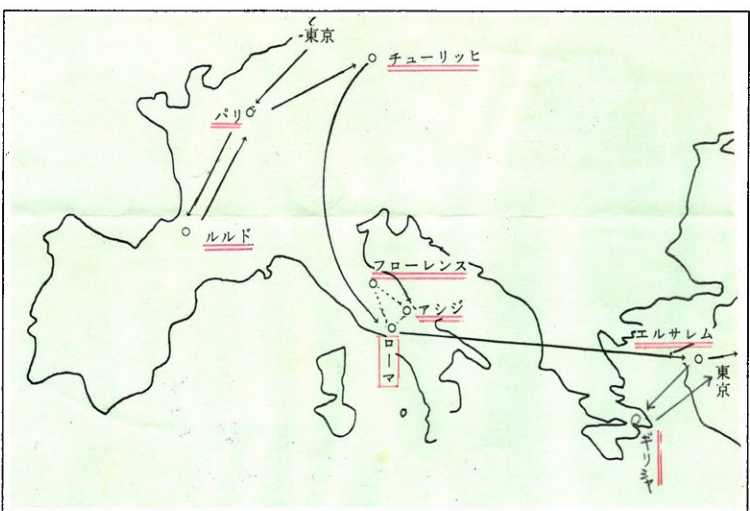
3人の子どもから写真入り
りの結婚祝いのメッセージが
届いた。結婚55周年でエメラ
ルド婚というらしい。エメラ
ルドにどんな意味があるのか
は知らないがとにかく有難い
ことだ。

55年間の結婚生活にいろいろ
なことがあったことは私た
ちだけではあるまい。55年間
の共同生活はたくさんの人た
ちとの旅のようなものである。

家族の旅に限って言えば、
結婚50年には忙しくて行け
なかつた息子夫婦を除いて、
2人の娘と一緒にフランクフ
ルトに行った。それから5年
が過ぎ、2人とも体力的に
本人はあまり露の



結婚50周年記念の旅 フランクフルト



葉でつくった佃煮は、ほろ苦
さも加わり実においしい。今
朝もプレゼントした友人から
お礼の電話が届いた。こうい
う交わりが老いた人生には実
に楽しみである。



カトリック教会広島教区
50周年を記念した総勢約50
人の旅。若かつたからできた
ことだが、16日間の旅を企画
して実施できた自分をほめた
くなる。

今は新型コロナウイルス問
題でこんなことも出来ない。
実に良い時代に旅を
したものだ。もちろ
ん、自分の力だけで
できた訳ではない。人
との交わりの中で実施
出来た。大きな旅の
かわりにと言っては変
だが、最近友人が
散髪もしてくれる。
振り返ってみると、
色々な生き方がある
が残された人生は、
これらの人との交わり
を大切に生きようと、
今日も露の佃煮をつ
くる。それがエメラル
ド婚の一つの生き方と
思いつつ。

たかが刺し身の盛り合わせと
笑われるかもしれないが、こ
のような小さなことの積み重
ねが、家族の交わりを深めて
くれる。

体力的に大きな旅は出来
なくなつたが、最近ウグイ
スが鳴く、家の前の土手で露
(ぶき)を取り、露の佃煮を
も1つの生き方であるまい
か。